年度 2007　学期 前期	曜日･校時　火 3	必修選択　選択	単位数　2
授業科目/(英語名)	経済と経営 (現代の企業経営) Economics and Business (Contemporary Corporate Management)		
対象年次　1･2年次	講義形態　講義	教室	
対象学生(クラス等)　全学部		科目分類　人文･社会科学科目	

担当教員

担当教員:藤野哲也(経済学部 「企業行動･意思決定」 講座 教授)

Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:fujino@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 経済学部･東南アジア研究所 207号室

/オフィスアワー:基本的には、講義の時間帯以外なら何時でもよいが、必ずアポイントを採るように。

担当教員	本人のみ

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

＜授業のねらい＞

現代の企業活動等を題材とし、その内容を理解することを通して、経営というものへの関心を喚起し、その背景にある経営戦略や組織構造などへの理解を図る。

＜授業方法＞

講義(lecture)形式で行なう。ビデオや教材提示装置を使って、同時代的な(contemporary)テーマを使用する。

＜授業到達目標＞

自分の学びたいことが何なのか、それは企業活動とどう結びついているのかを理解できるようになること。

授業内容(概要)

授業内容(概要)

グローバリゼーションの進展する中、日本企業の置かれている経営環境にさまざまな変化が生じている。価格破壊、外資系企業の進出(製薬業界など)、大型企業合併など、その変化は実に多様である。

こうした環境変化の中で、企業はどう対応していこうとしているのか、また、それはどのように可能なのかなどについて、実際の事例を基に考えてみる。

第1回(4月10日)　イントロダクション
第2回(4月17日)　経営環境としての日本経済
第3回(4月24日)　同上
第4回(5月1日)　中間まとめ
第5回(5月8日)　経営学のアプローチ
第6回(5月15日)　グローバリゼーションと企業経営
第7回(5月22日)　戦略提携の事例から
第8回(5月29日)　製品差別化戦略
第9回(6月5日)　選択と集中
第10回(6月12日)　企業の社会的責任
第11回(6月19日)　日本型経営システム
第12回(6月26日)　新興国市場と中国
第13回(7月3日)　まとめ
第14回(7月10日)　最終試験

（注意）「現代的なテーマを取り扱うので、講義は必ずしもシラバス通りにならないことがある。」

キーワード	企業経営、経済活動、グローバリゼーション、技術革新
教科書･教材･参考書	参考書 ･松田修一著『入門の経営　会社のしくみ』日本実業出版社 ･藤野哲也編著『日本経済の競争力と国際化』ミネルヴァ書房 ･藤野哲也著『グローバリゼーションの進展と連結経営－東南アジアから世界への視点－』文眞堂 など、学年、問題意識、レベルにより異なる。
成績評価の方法･基準等	最終試験、レポート、授業への参加状況などを総合的に勘案して行なう。
受講要件(履修条件)	特に無いが、「大学生として」の「問題意識」のある学生を前提とする。
本科目の位置づけ/学習･教育目標	専門科目、科学、社会科学、経済･経営学への橋渡し。
備考(準備学習等)	授業中の私語は、即刻、ﾚｯﾄﾞ･ｶｰﾄﾞ。成績の査定は厳格に行なう。